

各位

2019年4月8日
株式会社吉野家

約30年ぶりの牛丼 新メニュー発売開始から1ヶ月 吉野家、『牛丼 超特盛』100万食を突破 同時に発売開始した『牛丼 小盛』の販売も好調

今年、創業120周年を迎えた株式会社吉野家（代表取締役社長 河村泰貴、本社：東京都中央区 以下吉野家）は、3月7日から全国の吉野家店舗*1で販売を開始した『牛丼 超特盛』の販売数が100万食*2を突破したことをご案内いたします。また同日から販売を開始した『牛丼 小盛』の販売も好調で、両メニューとも想定の2倍の売り上げで推移しています。

*1一部店舗では、販売していません。

*22019年3月7日（木）から2019年4月6日（土）31日間で、牛丼超特盛販売数1,021,868食。



28年ぶりの牛丼 新メニューとして提供を開始した『牛丼 超特盛』と『牛丼 小盛』の販売数が大変好調に推移しています。『牛丼 超特盛』は販売開始直後に販売数が急伸した以降も継続して好調な売り上げを維持し、発売開始から1ヶ月で販売数100万食を突破しました。これは当初見込んでいた販売数の2倍の売り上げです。『牛丼 超特盛』は「牛丼の肉をもっと食べたい」とのお客様の声を反映し、牛肉が『牛丼 大盛』の倍量で、吉野家の肉を存分に味わえることが好評の要因となっています。食べ盛りの若年層男性はもちろん吉野家を長年支持くださっている皆様にも愛され、新たな看板メニューに育ちつつあります。

『牛丼 小盛』も『牛丼 超特盛』と同様当初計画の2倍の売り上げで推移し、販売開始から1ヶ月で販売数60万食を超えました。「並盛は食べきれない」とお客様の声を反映し、並盛の約4分の3のボリュームの『牛丼 小盛』は、性別・年齢問わず幅広い層のお客様の支持を得ており、わずか販売開始1ヶ月で固定客をもち始めているのが特徴です。

『牛丼 超特盛』『牛丼 小盛』を発売した2019年3月の吉野家の既存店売上高前年比は108.1%、同客数前年比102.3%、同客単価前年比105.6%となり、半年ぶりに既存店が前年を超えた要因となりました。

吉野家は今後も皆様にご愛顧いただけるよう、鋭意努力を重ねてまいります。

【参考】

吉野家公式 Twitter (@yoshinoyagyudon) では、『牛丼 超特盛』100万食突破記念として、吉野家プリペイドカード1,000円分を抽選で5名様にプレゼントするキャンペーンを本日4月8日(月)より開始します。公式アカウントをフォローし該当記事をリツイートすれば、どなたでもプレゼントが当たる可能性があります。

＜お問い合わせ先＞

株式会社吉野家 企画本部 広報担当 寺澤・海老名
TEL 03-5651-8620